



ABRSM

Exam Regulations

International

2022–

音楽検定規定集

ABRSM について

会社概要

私たち ABRSM (Associated Board of the Royal Schools of Music) は、イングランドとウェールズで登録された会社 (会社登録番号 1926395) であり、登録慈善団体 (慈善事業登録番号 292182) でもあります。登録事務所は、4 London Wall Place, London, EC2Y 5AU にあります。

私たちの使命

ABRSM の使命は、音楽の成果を鼓舞することです。王立音楽院、王立音楽大学、王立北音楽大学、王立スコットランド音楽院の 4 つの王立音楽学校とのパートナーシップのもと、これを実現しています。

私たちは、音楽、芸術としての価値、そして音楽教育の重要性について熱く語っています。私たちは、音楽と関わることで、人々にユニークでポジティブな経験を与え、生涯にわたって利益をもたらすと信じています。

私たちは、世界をリードする評価、書籍、リソースを通じて、世界中の人々に、音楽を教え、学び、作り、楽しむために必要なツールを提供しています。奨学金、寄付、スポンサーシップ、パートナーシップにより、あらゆる年齢層の人々が音楽と出会い、その可能性を発揮する機会を提供しています。私たちの活動はすべて、学習者と教師の音楽の旅をサポートするために設計されています。詳しくは、www.abrsm.org をご覧ください。

私たちの規制について

ABRSM のプラクティカル・グレード、パフォーマンス・グレード、音楽理論、および上位レベルの資格 (ディプロマ) は、英国で以下のように規制されています。

- 資格試験規制局 (Ofqual)
- クオリフィケーション・ウェールズ
- CCEA Regulation (Council for the Curriculum, Examination and Assessment) の略。イングランドおよび北アイルランドでは、Regulated Qualifications Framework (RQF) の一部となっている。詳細については、www.abrsm.org/regulation

この検定規則について

本検定規則がカバーするもの

この規則は当社が音楽検定サービスを提供し、実施するための諸条件を定めたものです。

この検定規則が適用される検定

この規則は、ミュージックメダルを除く ABRSM のすべての検定に適用されます。第 27 条は、DipABRSM、LRSM、FRSM ディプロマに適用され、その他の規定は、これらの検定のシラバスに記載されており、www.abrsm.org/our-exams で入手できます。この検定規則は、2020 年 7 月 27 日以降の検定予約に適用されます。

本検定規則の変更点

この検定規則は、新しいオンライン予約サービス、パフォーマンスグレードの導入（2020 年 7 月 1 日から学習者に提供）、オンライン音楽理論検定の導入（2021 年 8 月 2 日からオンデマンドで提供）に関する変更を反映して改定されました。

当社は、サービスの適切な提供を支援するため、法的、安全性、その他の実質的な理由により、これらの規則を随時変更または追加する権利を有します。この規則は、当社の検定の実施に関するこれまでのすべてのガイダンスに取って代わるものです。最新版は、次のサイトで入手できます。www.abrsm.org/examregulations

お問い合わせ方法

本規定に誤りがあると思われる場合、または不明な点がある場合は、www.abrsm.org/contact-us の「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。

重要 - 法的拘束力のある契約

受検者が試験の予約をした時点で、受検者と ABRSM は、本規定に定められた条件に基づき、法的拘束力のある契約を締結することになります。

1 検定科目

- a. 検定科目は、abrsm.org/exams に掲載されています。

- b. ABRSM の実技グレードとパフォーマンス・グレード（以下 PG と記載）は、イニシャルグレード（一部の科目のみ）から G8 まであります。音楽理論とパフォーマンス・アセスメントは、G1 から G8 まであり、各グレードは、要求されるレベルが段階的に上がっています。プレップテストでは、音楽的・技術的な基礎を身につけられるようになっています。ARSM（英国王立音楽院準学士課程）は、G8 以降の演奏のみの試験です。また、3つのレベルにおけるアンサンブルや合唱及びパフォーマンス・アセスメントがあります。

2 資格規定

- a. 以下の表（訳注:本文参照）は、プラクティカル・グレード、PG、音楽理論、ARSMの資格規定です。詳細については、<https://register.ofqual.gov.uk>を参照のこと。
プレップテスト、パフォーマンス・アセスメント、アンサンブル、ジャズ・アンサンブル、合唱については、資格規定がありません。
- b. 読みやすくするために、「実技グレード」、「PG」、「音楽理論」、「ARSM」の表記がされています。同様に、「器楽および歌唱検定」という総称は、音楽理論以外のすべての資格を指します。

3 事前取得について

- a. 受験における年齢制限はありませんが、予約時に生年月日をウェブページに記載する必要があります。
- b. 初級から上級までの器楽・歌唱検定、および G1 から G8 までの音楽理論の受験者は他のグレードの検定を受ける必要はありません。
- c. G6-8 の器楽および歌唱検定の受験者は、エントリー締切日までに abrsms.org/prerequisite に記載されている資格を取得すること。
ARSM 受験者は、前もってその楽器の ABRSM のグレード 8 に合格していなければなりません。詳細については、www.abrsms.org/arsmdiploma をご覧下さい。
- d. 必要な証明書を提示しない受験者について ABRSM は、試験を中止する権利を有します。
 - ・ 1994 年 1 月 1 日以前に取得した ABRSM の資格をお持ちの方は、予約時に証明書のコピーをご提出ください。（弊社で確認できない場合のみ補助書類が必要です）
 - ・ ARSM の予約の場合、申し込み時に証明書のコピーは必要ありません。後日、証明書のコピーを提出していただく場合もあります。（証明書のコピーを提出されない場合は、受験キャンセルとなり、料金の払い戻しはなしとさせていただきます）

4 シラバスの更新と移行期間

- a. シラバスは随時更新されます。変更の事前通知は、以下のサイトで行います。
abrsm.org/syllabusupdates
- b. 器楽と歌唱の検定シラバスが改訂された最初の年には、移行期間を設けています。但し、受検者は、2つの年度の課題曲を混在して選曲する事はできません。
シラバス 移行期間の長さや適用される要件に関する情報は、abrsm.org/overlap でご確認ください。

5 アプリカント（受検申請者）の役割と責任

- a. 受検申請者の責任は次のとおりです。
 - ・ この検定規則を遵守し、検定関係者（受検者を含む）に以下の事項を周知徹底する
 - ・ 受検者が 18 歳未満の場合、受検者の両親のどちらか（または両親と同居人）が、受検者 に関連する事項を理解していることを確認すること。
 - ・ 親権者又は保護者が、自身の子供が検定に参加することに同意していること。
 - ・ 検定予約を提出し、予約の情報・スペル、試験科目とレベル、特別なニーズ等が正確であることを確認する。
 - ・ 受検料を支払う。
 - ・ 受検者が検定の日時と会場を知っていることを確認すること。
 - ・ 検定結果・合格証書を受領し、受検者に渡すこと。
- b. 申請者には、オンラインサービスに初めて登録する際、個人用の連絡先 ID（コンタクト ID） が与えられます。この連絡先 ID は、当社とのすべての連絡に引用される必要があります。
- c. 申込者の書面による同意がない限り、予約の責任を他に転嫁することはできません。
- d. 申請者はすべての事項において当社の主要な連絡先ですが、正当な質問に対しては当社は試験に関する情報を受検者およびその保護者（または親権者）を含む他の関係者と共有することがあります。予約の際に、申込者は電子メール（E-mail）を追加するオプションがあります。PG とオンライン音楽理論の場合、メールアドレスの登録は必須です。受検者毎にアドレスを設定し、アカウントを作成することができます。アカウントがあれば、受検者（および受検者の保護者） 検定情報の閲覧、予約の変更（可能な場合）、結果の確認がオンラインでできます。受検者には、予約や結

果に関するメールが後日届きます。 受検者と保護者は、連絡先 ID さえ分かれば、いつでもアカウントを設定することができます。

- e. アプリカントと受検者又はその保護者（親権者）の間の争いやコミュニケーションの断絶に、当社は関与することができません。
- f. 当社は、ABRSM の証明書に記載されている申請者の学位・資格の確認は行いません。申込者は、予約の際に正確な情報を提供することが期待されます。
- g. 18 歳未満の受検者が、デジタル方式でパフォーマンスグレード、ARSM、音楽理論の検定を受験する場合、アプリカントは、保護者に対して試験がビデオ撮影され、評価、コンプライアンス、および保護目的のために記録されることを通知する責任があります。又、検定予約の前に、保護者から録画の承諾を得る必要があります。

6 受検予約

- a. 予約は、オンライン予約サービスを利用して、公表された予約期間 (abrsms.org/datesandfees を参照) 内に申請者が行うこと。音楽理論 (Grade 1-5) については、年間を通じてどの日でも予約可能です。受検者は、予約の 3 時間後にダッシュボードを介して試験を開始することができます。この検定は申し込み後 28 日以内に受検可能です。オンライン予約ができない場合 (DipABRSM、LRSM、FRSM、合唱とアンサンブルのみ)、<http://www.abrsms.org/exambooking> で説明されているプロセスによってエントリーする必要があります。
- b. 当社は、予約を拒否、無効、またはキャンセルすることができます。この場合、受検料は返金されます (ARSM の例外については 3d 参照)。
- c. 1 回の試験セッションで (同じレベルか異なるレベルかを問わず) 2 科目を受験することは、禁止されていませんが、推奨はされておられません。その場合、受検者が同じ審査官によって 2 回評価される可能性があります。又、PG と実技グレード相互間の点数の振り替えは、いかなる場合であっても認められません。
- d. 受検者は、同じデジタル音楽理論グレードを同一年度内に 3 回以上受検することはできません。音楽理論 (G6-8) の筆記試験は、同一セッションで一回のみ受検することができます。

- e. 予約の際、申込者は以下の情報が正確であることを確認する必要があります。
名前のスペル、試験科目とレベル、アクセスの手配や必要な調整の有無。予約の提出後、訂正はできません。

7 支払い

- a. 受験料は予約時に全額支払う必要があります。支払い方法の詳細については、以下を参照してください。 abrsms.org/exambooking
- b. 複数の受検者の代理で予約する場合、支払いは申し込み者が一括して行う必要があります。受検者ごとの支払いはできません。
- c. 支払いに問題がある場合、または未払い金がある場合は、できるだけ早く申込者に連絡されます。予約完了後、問題が解決されない場合、申込者は、未払い料金が支払われるまで、今後一切の予約を行うことができない場合があります。

8 予約の取り消し、不参加、及び料金の払い戻し

- a. キャンセルおよび不参加は、 abrsms.org/policies に掲載されている「退会、未入会、退学」に従って申請することができます。

9 アクセスの手配と必要な調整（特定のニーズを持つ受検者向け）

- a. 私たちは、すべての受検者が利用しやすいように、アクセス方法と合理的な方法を提供しています。試験の運営に変更が加えられることはあっても、以下のような変更は行いません。すなわち、各受検者の成績は、通常の評価基準に沿って採点されます。特定のニーズを持つ受検のためのガイドラインを abrsms.org/specificneeds で公開しています。受検者がガイドラインでカバーされていない特定のニーズがある場合は、個別に検討します。更なる情報は、アクセス・コーディネーター (accesscoordinator@abrsms.ac.uk) または、以下のサイトから入手できます。
www.abrsms.org/specificneeds

受検申し込み

- b. 申請者は、予約時に関連する地域を選択する必要があります（地域の全リストは、「アクセスの手配と合理的調整に関する方針」の付録 A に記載されています。

abrsm.org/specificneeds

さらなる手配が必要な場合、試験予約の前に、詳細については

accesscoordinator@abrsm.ac.uk のアクセス・コーディネーターにお問い合わせください。

補足必要書類

- c. 合理的な調整を必要とする受検者（代替試験、視読のための時間延長など 音楽理論の試験の場合は、時間の延長や通訳の使用など）、その根拠となる書類を提出しなければなりません。必要な書類の詳細は、abrsm.org/specificneeds でご覧いただけます。合理的調整の根拠となる書類を提出しない場合、不正申し込みとみなされることがあります。ABRSM の Malpractice and Maladministration Policy に基づき、www.abrsm.org/policies をご覧いただけます。

個人情報

- d. ABRSM は、アクセスの手配や合理的な調整を必要とする受検者の以下のような可能性を認識しています。試験の予約時に個人情報や機密情報を提供すること、また一部の情報については試験を実施するために必要であれば、それらは、付き添いや監督者に渡される必要があります。これらの情報を慎重かつ安全に取り扱うため 当社のプライバシーポリシーは、abrsm.org/policies でご覧いただけます。又、申込者は、適切な同意を得た上で受検者の情報を共有します。

通常の検定に代わるもの

- e. 年齢を問わず、通常の検定を受けることができない受検者には、パフォーマンス・アセスメントは適切な代替手段です。ここでは、自分で選んだ曲のプログラム（最長 15 分）が演奏されます。詳しくは、以下をご覧ください。

abrsm.org/performanceassessment

10 実技試験の日程

- a. 検定の日程は、申請者が選択した予約オプションによって異なります。
- ・ **公式会場**：申請者が、試験会期中の ABRSM によって認定された公式会場での試験（複数も可）を予約する場合。

- ・ **Private Visit (プライベート・ビジット)**：プライベートな会場で試験会期内外の検定を予約する場合。公式会場で受検できない科目-ハーブシコード、オルガン、打楽器科目、合唱、ジャズアンサンブルの受検者のための試験を予約する。
- ・ **ABRSM ジャズビジット**：(訳註：日本では適応外)
- ・ **リモート会場**：申請者がビデオ録画可能な試験（または試験）を予約する場合。ABRSM に提出し、審査を受けることができます (PG と ARSM のみ)。これらは ABRSM が設定するセッションの時間帯に行われます。詳細は以下を参照。
www.abrsm.org/datesandfees

公式認定会場の予約

- b. 予約期間中に、オンライン予約サービスを利用して、会場を選択することができます。予約は選択した日の 9:00 から 17:30 までの間いつでも可能です。詳しくは、www.abrsm.org/exams をご覧ください。
- c. 検定日時、検定会場の決定は、受検者本人および受検者（保護者）に対し、予約期間が終了し、予約時間が確定した後、できるだけ早く、申込者及びアカウントをお持ちの受検者（保護者）に電子メールにて通知が送られます。これにより予約の詳細がオンラインで閲覧できるようになったことを確認できます。
- d. 予約期間が終了し、試験時間が確定した時点で、受検者および受検者 ID をお持ちの保護者の方は、オンラインで代替の予約を検索し、予約することができます。この場合 同じ会場でも別の会場でも構いません。詳しくは、www.abrsm.org/exams をご覧ください。この場合、申請者、受検者、保護者の責任において、関係者全員に変更を通知してください。

プライベート会場

- e. 実技試験 (PG を除く) のプライベート会場での検定は、主催者が希望する日 (日曜日と銀行休業日を除く) に認定された会場で行われます。主催者と許可された申請者は検定開始日の 28 日前までプライベートビジットでの受検を予約することができます。予約期間終了後 (開始日の 28 日前)、当社は主催者と受検者の確認を行います。
- f. 主催者は、オンラインサービスにログインし、予約の確認後、訪問開始日の 48 時間前までタイムテーブルを変更することができます。主催者は、受検者および許可された申請者に、最終的な検定の予定を通知する責任があります。

公的な会場で受検できない科目のためのプライベート検定

- g. チェンバロ、オルガン、打楽器科目、合唱、ジャズ・アンサンブルの検定は、申請者が認定会場でのプライベート・ビジットとしての予約が必要です。この場合は オンラインサービスまたは郵送でのエントリー（該当する場合）において、希望する開始日をお知らせください。
- h. 予約期間（希望開始日の 28 日前）を過ぎると、ABRSM から連絡があり、希望する日時を確認します。プライベート・ビジットの日程は、ABRSM が確認するまでは保証されません。

ABRSM ジャズビジット（訳註：日本での開催はありません）

リモート会場

- j. 予約期間中に、オンライン予約サービスを利用して、会場と検定日を選択しリモートでの受検を予約することができます。この予約により受検者は、提出期限日までに演奏の録音を ABRSM へアップロードします。詳細は、以下をご参照ください。

www.abrsm.org/exam-appointments

- k. 予約期間が終了し、検定時間が確定した時点で、受検申込者およびアカウントをお持ちの方（保護者の方）は、オンラインで代替の予約を検索し、予約変更をすることができます。詳しくは、www.abrsm.org/exam-appointments をご覧ください。予約は、各自の責任で行ってください。受検申込者/受検者/保護者の方は、試験予約の変更を関係者全員にお知らせください。

11 音楽理論検定日

- a. 試験の日程は、受検のグレードによって異なります。
 - ・オンライン音楽理論（Grade 1～5）：この試験は、いつでも予約することができます。受検者は予約後 28 日以内にオンラインで受検してください。
 - ・音楽理論（Grade 6～8）：公式会場やプライベート会場で実施される検定。詳細は以下をご覧ください。

音楽理論（Grade 6～8）の予約について

- b. 音楽理論のペーパーテストは、決められた日時に開催されます。詳細については、以下をご覧ください。abrsm.org/datesandfees すべての検定は、事前に許可された場合を除き、ABRSM から公表された日時に実施されなければなりません。

代替日のリクエストは、例外的な状況においてのみ受け付けられ、ABRSM の決定が最終決定となります。

- c. 音楽理論検定（筆記試験）の受検者は、彼らにとって適切である日付と時間にのみエントリーすること。
- d. 日時と会場は、予約時にオンラインサービス上に表示されます。申込者及びアカウントを持っている受検者（保護者）には、オンラインにアクセスできることを知らせるメールが届き、確定した試験の詳細が表示されます。

12 公式認定会場

- a. 器楽・歌唱の対面式試験およびペーパーベースの音楽理論検定には、公式会場が提供されます。
- b. 会場の詳細は、予約時にオンラインで確認することができます。
- c. 予約が少ない場合、公式会場の開設を見送ることがあります。この場合代替会場でのアポイントメントを提供します。
- d. 器楽・歌唱の対面式試験のための公式会場において必要なものは
 - ・控え室（またはスペース）
 - ・可能な限り、控え室に音が漏れない場所にある検定室
 - ・適切なピアノ（アップライトまたはグランドピアノ）
 - ・譜面台。ただし、受検者が希望する場合は持参してもかまいません。
 - ・椅子/スツール（チェリストやギタリスト用など）
 - ・受付者
 - ・可能であれば、受検者がウォーミングアップをするための部屋（または場所）を追加してください。この場所の提供は、保証されておりません。
- e. 筆記の音楽理論検定の為の公共の会場には
 - ・検定室があること。
 - ・他の受検者と適度な間隔を保つことができる机、椅子
 - ・検定の全時間立ち会う監督者がいること

- f. 法律で除外できない場合を除き、ABRSM は、以下の事項に対して責任を負いません。 公式会場で発生した損害、負傷、費用または損失（結果的な損失を含む）。

13 プライベート ビジット（プライベート会場での検定）

- a. 器楽・歌唱試験及び/又は筆記の音楽理論検定は、主催者が提供する認定会場で、規定に基づき開催することができます。 これはプライベート ビジットと呼ばれ、会場提供は受検申請者でも可。
- b. プライベート・ビジットの主催者は、検定の予約前に新しい会場の承認を申請しなければなりません。 オンラインアカウントから承認申請書を提出することで行うことができます。 承認の確認には最大で8営業日かかる場合があります。 プライベート・ビジット会場の要件の詳細は、主催者のための条件とともに、下記に記載されています。 abrsms.org/exam-booking/private-visits
- c. プライベート・ビジット主催者はその検定の円滑な催行に関するすべての事柄—受験生やその他の訪問者などの健康、安全、福祉—to 責任を持ちます。

プライベート ビジット主催者は、以下を確認する必要があります。

- ・ 法律で除外できない責任に関するものを除き、適切な保険に加入していること。
ABRSM は、検定中に発生しいかなる損害、負傷、費用または損失（結果的な損失を含む）についても責任を負いません。
- ・ 適切な保護措置を講じ、健康および安全を確保するための手配をすること。
18歳未満の受検者は、適切な採用・審査手続きを経ている成人を同伴し、また、最新のガイドラインと当社の児童保護に関する方針、手順、および 実践規範は、abrsms.org/policies で入手できます。

器楽・歌唱のためのプライベート・ビジット

- d. 予約方法は abrsms.org/exam-booking/private-visits で紹介されています。以下のどちらのケースにも対応しています。
- 受検者数が十分に多い場合
公式会場では受検できない科目（ハープシコード、オルガン、打楽器、合唱、ジャズ・アンサンブル）がある場合

- e. 検定は通常、9 時前に開始し、17 時 30 分以降に終了してはなりません。又、午前と午後それぞれ 15 分の休憩があり、更に 1 時間 5 分の昼休みがあります。一日の総検定時間は通常 6 時間 30 分を超えないものとします。
- f. 主催者は、他の許可された申請者がプライベート会場での検定を予約することを許可することができます。ただし、試験は 1 つの会場で行わなければなりません。受検申請者が プライベートビジットに参加する場合は、予約する前にビジット主催者の許可を得なければなりません。また、関連する会場コードを要求する必要があります。主催者は、ABRSM と連携し、適切な施設と手配、および、検定のタイムテーブルの提供に責任があります。
- g. 主催者はプライベート会場の要件の全詳細を、「訪問のための条件」(Terms and Conditions for Visit) [abrsm.org/exam-venues-and-visits](https://www.abrsm.org/exam-venues-and-visits) で確認することができます。
- h. プライベート・ビジットが合唱試験のためにだけ行われる場合、審査官加算代金が課されます。詳細は、[abrsm.org/datesandfees](https://www.abrsm.org/datesandfees) を参照のこと。

音楽理論試験のプライベート会場

- i. 音楽理論の筆記試験は、登録された教育機関、ミュージックサービスまたは刑務所/病院の教育機関内で行われます。

14 デジタル検定 (PG と ARSM のみ)

- a. デジタル検定は、受検者の学校、先生のスタジオ、その他のご希望の会場で受検することができます。そこでは適切なスペースと楽器が利用できる場所 (適切なピアノを含む) を必要とします。又、受検者の自宅でも構いません。
- b. 受検者/申込者は、会場の手配、および検定の実施に必要なすべての設備 (譜面台、録音機など) について責任を持つものとします。

15 受検者の身分証明書

- a. 上級グレードやディプロマを取得するための前提条件となる検定を受ける場合、

或いは大学出願の一部として使用する場合は、写真入りの身分証明書を提出する必要があります。受検者本人確認方針 (abrsn.org/policies) に基づき、写真付き身分証明書 (photo ID) を作成します。これらは、以下の検定にあてはまります。

- ・全ての音楽理論 (G1 から G8 まで)
- ・実技検定 G5 (ジャズのみ)、G6、G7、G8
- ・パフォーマンス グレード G6、G7、G8
- ・プラクティカル ミュージシャンシップ G5 および G8

16 器楽・歌唱試験

検定時間

- a. 器楽と歌唱の検定時間は abrsn.org/examtimings に記載されています。これらの時間は、各検定のおおよその長さを示し、(該当する場合) 受検者の入場と退場、チューニング時間や審査官がマークシートを仕上げる時間などを含みます。なお、これらはあくまで想定された時間であり、実際の検定では、審査官は与えられた時間より多く又はより少ない時間を取ることがあります。
各グレードに設定されている PG の時間割は、最初の曲の開始からの最大のプログラム時間を示しています。

受検者 ID

- b. 上級グレードやディプロマを取得するための前提条件となる検定を受ける場合、或いは大学出願の一部として使用する場合は、写真入りの身分証明書を提出する必要があります。

公認会場またはプライベート会場を受検する対面式実技検定 (Jazz を含む)

- c. 受付者は、時間割と各受検者の予約時間を示した受検者名簿を持っています。
- d. ある受検者が予約を取り消した場合 (または別の予約を入れた場合)、他の受検者の予約時間はそのままです。
- e. 受検者は、予約開始時刻の 10 分前までに準備を整えてください。遅刻した受検者には対応に出来る限り努力はしますが、検定ができない場合もあります。
- f. 15 歳未満の受検者は、責任者の同伴で会場に行くことをお勧めします。なお 待合室のスペースは限られていますので、同伴者は 1 名といたします。

- g. 受検者（伴奏者、ページめくり者、通訳、付き添いを含む）は、以下のことを行ってはなりません。許可されていない資料や機器（録音機器など）を検定会場に持ち込むこと。携帯電話の電源は必ず切ってください。この規則を破った者は失格となる場合があります。その他の当社の不正行為および不正管理に関する方針については、abrs.org/policies でご覧いただけます。
- h. ジャズソロの科目（ジャズピアノを除く）の受験者（訳注:日本に該当しないため省略）
- i. デジタル・ダウンロードで入手した楽譜は、試験中、電子機器から読み取ることができません。この目的のために使用する場合以外は、デバイスの電源を切り、いかなる記録にも使用してはなりません。これは使用者（受検者または伴奏者）の責任であり、これらのルールに違反した場合、受検者は失格になる可能性があります。不正行為および不正管理に関する方針についての詳細は、abrs.org/policies でご覧いただけます。
- j. 私たちは、モニタリング、品質保証、トレーニングの目的で、検定の音声を録音しています。これらの録音は ABRSM の所有物であり、各セッションの終了後に削除されますが、トレーニングに使用される可能性のあるものは例外とされます。ここでは受検者が特定されたりすることはありません。
- k. スチュワードと検定事務局スタッフ以外が、検定室の外で（またはドア付近で）内容を聴くことは禁止されています。

検定室

1. 検定会場には、通常以下の方々が在室します。
- ・ 審査官：通常、検定室には審査官が 1 人しかいませんが、2 人目の審査官が研修や品質確認の目的で立ち会う場合もあります。
 - ・ 伴奏者：必要に応じて受検者は、必ず自分の伴奏者を連れてくること。伴奏者は受検者の指導者がつとめることが可能ですが、審査官はいかなる場合においても伴奏しません。（プレップテストを除く）。伴奏者は、伴奏中のみ検定室にとどまることができます。
 - ・ ページめくり者：イニシャルグレード～G5 の受検者は、自らページめくりをすることが期待されています。厄介なページめくりの手助けをするために、全グレードのオルガン受検者、実技 G6～8、および ARSM 受検者と伴奏者は、ページめくり者（オルガン曲のレジスト担当者を兼ねることも可）を同伴することが許されています。

す。事前の許可は必要ありません。指導者はページめくりが出来ますが、審査官はページめくりのお手伝いはできません。

- ・ 通訳 (BSL=視覚障がい者を含む)：通訳を同伴する受検者は、申し込み時点でその旨を申告する必要があります。受検者の指導者や親族が通訳を勤める事は不可。
 - ・ 付き添い：例外として受検に付き添い者 (指導者や近親者は不可) の入室が認められる場合があります。申し込み時に付き添い者を指名し付き添いの詳しい理由と共に本部に申請すること。
- m. レパートリーの演奏と録音は連続した1テイクでなければならず、テイク中のいかなる時点でも録音を停止してはなりません。
- n. 録音は、どの資格に対しても一度だけ提出することができます。以前提出したビデオをアップロードした場合、その受検者は失格となります。(訳註：現時点では、締め切り日前であれば再度提出も可)
- o. 受検者は、プログラム用紙と自分で選んだ曲の冒頭部分を見せるとともに、その内容を確認すること。また、演奏を始める前に、口頭で自己紹介とレパートリーの紹介をすること。審査官は、受検者が自分のレパートリーを演奏し始めた時点から評価を開始します。
- p. 受検者が18歳未満の場合、録音作業は、18歳以上の責任ある成人が監督しなければなりません。申請者、教師、親または保護者のいずれでも可。
- q. 以下に述べる人は、録画中に立ち会うことができます。
- ・ 伴奏者：応募者は、伴奏者を選び、受検者が生伴奏で演奏することを確認すること。受検者の指導者も可。
 - ・ ページめくり：受検者はページめくりを使用してもよい (事前の許可は不要、又指導者がこれを行うことも可能)
 - ・ 責任ある成人:受検者が18歳未満の場合、録画作業は以下の者が監督する必要があります。責任ある成人とは18歳以上で、申請者、教師、親/保護者のいずれも可。
 - ・ 演奏に関与していない人は、カメラの視界に入らないようにしてください。又、番組を中断させたり、指示したり、いかなる形であれ収録の邪魔をしないこと。
- r. 録音は、予約時に選択した提出期限までにオンライン予約サービスを使って ABRSM に提出すること。期限を過ぎると、アップロードリンクにアクセスできなくなり、また、受検者は欠席扱いとなります。

- s. 録音は、提出されてから 130 日間 ABRSM によって保管され、その後自動的に破棄されます。
- t. 試験の録画は ABRSM の評価のみを目的として作成され、他のいかなる目的にも使用されないこと。つまり、試験の録画は、他の人と共有してはいけません。また、Facebook や YouTube などのファイル共有サイトやソーシャルメディアサイトにアップロードすることも禁止されています。録音を ABRSM 以外の者と共有した場合、受検者は失格となる可能性があり、演奏した作品の著作権に違反することとなります。不正行為と不正行為に関するポリシーは、www.abrsm.org/policies でご覧いただけます。

演奏曲目と演奏の要件

- u. すべての器楽と歌唱の検定は、関連するシラバスに沿って実施されます。受検申込み者はシラバスを必ず読み、関連する部分を受検者に注意喚起すること。
- v. 申込者、指導者、受検者は、以下の要件に十分留意してください。
シラバスリストの楽曲とは、シラバスリストの1つの番号の見出しの下に設定されたすべての楽曲を指します。又、1つの作品から複数の楽章を、あるいは複数の項目を含むこともあります。
- w. 曲／楽章の最初のテンポ表示（またはセクションタイトル）は、シラバスに記載されます。ここで楽章または楽曲が複数のテンポ表示（またはセクションタイトル）で構成されている場合、楽章又は曲は全体を通して演奏されなければなりません。（特に指定がない限り）。
- x. 公式会場またはプライベート会場で行われる検定において、（ジャズを含む）審査官は判断できるほど聴きこんだ場合、演奏を中止することができます。ARSM で、演奏の上限時間超えた場合、又は ARSM の場合、曲の上限時間が設定された場合（abrsm.org/performance-arism を参照）、デジタル検定では演奏が指定された最大プログラム時間を超えた場合、審査官は録音を停止することができます。
- y. 受検者が PG と対面式実技グレードの試験で同じレパートリーを演奏することは奨励されていませんが、禁止されているわけではありません。
- z. シラバスの要求事項や規定を満たしていない受検者（例：シラバスに記載されている曲の一部のみを演奏する等）、パフォーマンスグレードと ARSM の場合、演奏が短す

ぎたり長すぎたり、曲数が少なすぎたり多すぎたりするプログラム、または自分で選んだ曲は不適切な場合、警告を受けたり、減点されたり、場合によっては不合格になることがあります。

- aa 実技グレード試験の各セクションの順番は、受検者の判断にまかされています。
(理想的には、伴奏付きの曲は続けて演奏)。受検者が伴奏付き楽曲以外のセクションから始める場合は、伴奏者が試験開始時刻に適切なタイミングで会場に入ることができるように) 事前に受付者に伝えておく必要があります。
- bb. ジャズ・ソロの科目 (ジャズ・ピアノを除く) の受検者 (訳注: 日本では該当なし)
- cc. 対面式検定において、審査官は曲の演奏前または演奏後、受検者または伴奏者の楽譜のコピーを見ることができます。(ARSM の場合はプログラム終了後)。又。別冊のコピー譜は必要ありません。ビデオ録画の提出が必要な PG/ARSM の受検者は、試験開始時に、選択曲の冒頭部分をカメラに映してください。

著作権について

- d. 受検申込み者は、検定会場でのコピー (または他の種類のコピー) の作成と使用、著作権に関すること、ダウンロードの使用、著作物の編曲について、その国の法律に従っていることを確認する責任があります。
- e. 英国では、1988 年著作権・意匠・特許法 (Copyright, Design and Patents Act 1988) により、複製物(又はその他の種類のコピー) 作成・使用は認められていません。ただし、或る限られた条件下では、コピーを使用することができます。詳しくは、音楽出版協会の「公正な慣行に関する規範」をご覧ください。
www.mpaonline.org.uk/mpa-guidelines
- f. その他のすべての場合において、複製を作成する前に著作権者に申請する必要があります。公式会場またはプライベート会場で行われる検定において (ジャズを含む) は、許可証明を会場に持参してください。デジタル受検の場合は、結果を公表するまでに、その証明の提示をお願いすることがあります。
- g. 受検者が著作権を侵害した証拠がある場合、当社は当該受検者の試験結果を保留することができます。

17 音楽理論検定

受検者 ID

- a. 音楽理論のオンライン（G1~5）と筆記試験（G6~8）の受検者には、以下のものが必要です。写真付きの身分証明書（photo ID）を提出すること（[abrsm.org/policies](https://www.abrsm.org/policies)を参照）。G1~5の音楽理論検定は、オンラインのみで受検可能。
ただし、アクセスアレンジメントなどの合理的理由により受検者が筆記試験を必要とする場合は、補助書類を提出する必要があります。

試験時間

- b. 音楽理論のオンライン試験の時間は
G1~3：1 時間半
G4~5：2 時間
- c. 英語が母国語でない受検者は、オンラインサービス上で次のことを要求することができます。中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、スペイン語、イタリア語のいずれかの言語に翻訳された試験。ただし、受検者が英国およびアイルランドで受検する場合は英語での受検のみ可能です。翻訳のリクエストは、予約時に行う必要があります。翻訳を依頼された受検者には、その翻訳が提供されます。試験中にこれを変更することはできません。

受検申込み者の義務

- d. 予約の際、申込者は受検者（保護者）のメールアドレスを入力する必要があります。これは必須です。このメールアドレスは、試験の詳細の送付や、受検者に ABRSM のアカウントを作成してもらうために使用します。すべての受検者は、オンライン音楽理論試験を受けるためのリンクにアクセスするために、アカウントを持つ必要があります。
- e. 受検申込み者は、以下の受検者チェックリストを事前に読んでおく必要があります。
<https://www.abrsm.org/enour-exams/online-theory/assessment-delivery/>
- f. 申請者は、受検者またはその責任者に、事前に上記の受検者チェックリストを読むように勧めなければなりません。

機器と試験のセキュリティ

- g. 試験を受けるには、ウェブカメラ機能付きのノートパソコン/デスクトップが必要です。完全な技術的要件は以下を参照してください
<https://www.abrsm.org/enour-exams/online-theory/assessment-delivery/>
- h. 試験プラットフォーム、試験監督、試験配信は、PSI という第三者機関のサプライヤーが提供します。受検者は、ウェブカメラと試験ソフトウェアを使用して試験中撮影され、各試験が行われ、試験終了後、訓練を受けたプロクターによってレビューされます。撮影はソフトウェアが起動すると同時に開始されます。ソフトを終了させると録画は終了します。18歳未満の受検者や社会的弱者については、必要な保護者の同意が得られていることを確認すること。
- i. 受検者は、受検者 ID を提示し、撮影する必要があります。また、開始時に部屋の様子を撮影しなければなりません。
- j. 受検者は、「ABRSM オンライン理論試験における遠隔採点」のガイダンスを参照し、試験中にどのような資料の持ち込みが許可され、監督が何を確認する必要があるのかについては以下を確認してください。[abrsm.org/policies](https://www.abrsm.org/policies) 露骨な映像（ヌード、虐待や自傷行為、アダルトコンテンツなどなど）が映し出されている場合。試験監督がビデオの視聴を中止する場合があります、ABRSM は以下の権利を有します。
試験が当社の規定に従って行われたことを確認できないため、結果を発行しない。
受検者に疑わしい行為があった場合、ABRSM に報告され、ABRSM は審査のビデオを確認し、Malpractice and Maladministration Policy に基づき適切な措置を講じます。
- k. 社会的弱者、18歳未満の受検生、複数の受検生を受け入れる会場では、試験開始時には、責任ある大人が検定室に同席し、最初のセットアップを支援する必要があります。

検定会場

- l. 受検者は、以下の要件に記載された適切な会場で検定を受けることができます。
<https://www.abrsm.org/enour-exams/online-theory/assessment-delivery/>
- m. 受検者は、複数の受検者を受け入れる会場で受検することができます。このような会場では、責任ある成人が必要です。部屋の適合性、技術的要件、および詳細なガイダンスは、以下を参照してください。

<https://www.abrsm.org/enour-exams/online-theory/assessment-delivery/>

- n. 公的な教育機関、音楽サービス/ハブ、刑務所/病院の教育部門での検定会場では、受検者が看視される必要はなく、検定会場が提供するインビジレーター（監督者）を使って検定を行うことができます。この場合、「承認申請書」に必要事項を記入し、その他の書類を添付の上、theory@abrsm.ac.uk 宛に添付書類を提出し、承認を得る必要があります。書式は以下の通りです。

<https://www.abrsm.org/enour-exams/online-theory/assessment-delivery/>

登録されたプライベート会場のオーガナイザーは、theory@abrsm.ac.uk 宛にメールをし、この監督者駐在の検定の実施許可を申請することができます。承認書の提出は必要ありません。申請者が承認されると教育機関・申請者に「インビジレーション・キー」をお渡しします。このキーは監督者に渡され、決して受検者には示されません。受検者は、通常通り ABRSM アカウントで検定を開始しますが、受検者用アプリケーション=RPNOW プロクタリング・ソフトウェアのダウンロードは求められず、「invigilation key」の入力を求めるページが表示されます。監督者がそれを入力し、その後、受検者はその検定会場にて試験を開始することができます。

G6～G8 の音楽理論検定

G6 から G8 の音楽理論検定は紙ベースの検定で、オンラインでは受検できません。検定会場は、公共施設または個人宅になります。

試験時間

- o. 音楽理論の試験時間は：3 時間

翻訳

- p. 英国およびアイルランドでの音楽理論検定は、英語のみで行われます。イギリス以外の国での検定については試験問題の現地語翻訳を提供することを目指します。
しかし、採算的に不可能な場合は、受検者に提供しない権利を留保します。その場合受検者は対訳の辞書を使用し 15 分の時間延長を受けることができます。

会場への到着

- q. 受検者は、特に指示のない限り、試験開始の 10 分前に到着してください。
- r. 開始時刻から 35 分以上経過した時点で到着した受検者は、入室を許可されません。
- s. 15 歳未満の受検者は、責任者の同伴で会場に来ることをお勧めします。但し、付き添

いの方の待機場所の確保は保証できません。

受検者 ID

- t. 音楽理論のデジタル試験と筆記試験の受検には、以下のものがが必要です。
写真付きの身分証明書を提出してください (abrsm.org/policies を参照)。
- u. 受検者は、ペンまたは鉛筆を持参すること。
- v. 下書き用に無地の原稿用紙と白紙が用意されています。
- w. 携帯電話、その他の電子機器、または未許可のものを持ち込むことは禁止されています。(鍵盤楽器、録音機器を表現したものなど)。
- x. 受検者は、試験中、互いに話したり、いかなる方法でもコミュニケーションをとってはなりません。
- y. これらの規則に違反した受検者は、失格となる場合があります。当社の不正行為と不正行為に関するポリシーは、abrsm.org/policies でご覧いただけます。

会場で

- z. 試験中は、インビジレーター（監督者）が常駐しています。

検定の実施

- a. 検定室で監督者が受検者の前で問題用紙の封を開ける。
- b. 各問題用紙の上部に制限時間が印刷されている。
- c. 受検者は、次のことをしなければならない。
 - ・ 監督者のすべての指示に従い、いかなる混乱も引き起こしてはなりません。他の受検者の迷惑になるような行為をした場合、監督者は、受検者に退出を求めることができます。
 - ・ 試験開始の指示で開始すること。開始前に下書き紙に書き込んだものは、すべて没収されます。
 - ・ 携帯電話、スマートウォッチ、その他の電子記憶デバイスを所持していないことを確認すること。

- ・試験中に問題用紙に記入する際、メモや計算機、本などを使用しないこと。このルールに違反した受検者、または他の受検者を手助けした受検者は、不正行為として調査され、罰則の対象となります（Malpractice and Maladministration Policy の詳細については、こちらをご覧ください abrsms.org/policies）。
 - ・解答ははっきりと読みやすく書くこと、さもないと減点されることがあります。
- d. 試験開始から 40 分を過ぎたら、受検者はいつでも検定室を出ることができます。問題用紙を提出したい受検者は、監督者が問題用紙を回収するために近づくまで着席したまま手を挙げること。
- e. 検定室から一時的に退出することが許可された受検者は、適切な方法で付き添われなければなりません。
- f. 問題用紙を提出した後、受検者は試験会場を退出し、戻ってくることは許されません。一度受検者が試験室を出た場合、もはや監督者の責任は存在しません。
- g. 各問題用紙が提出される際、監督者は受検者のフルネームが上部にはっきりと表示されていることを確認します。
- h. 受検者は、問題用紙や下書きメモを部屋から持ち出してはいけません。

試験終了後

- i. 監督者は問題用紙を安全な封筒に封入し、所定の方法で弊社に送付します。
- j. 問題用紙を郵便で紛失した場合、当社は責任を負いません。この場合、受検料は返金されます。

18 結果と合格証書

- a. 当社の採点基準は abrsms.org/markingscriteria および関連シラバスに記載されています。

オンラインでの成績発表（器楽・歌唱試験、音楽理論）

- b. 審査官は ABRSM に直接報告し、試験結果に関する情報を第三者に伝えることは許可されていません。

- c. 結果はオンラインで公開され、申請者にメールで通知され、ログインして結果を見ることができます。受検者への結果の伝達は、申込者の責任で行ってください。
アカウントを持つ受検者（保護者）には、結果発表から7日後にメールが送られ、直接ログインして自分の結果を見ることができます。
- d. 結果は、ホームページ（abrsm.org/results）に掲載されているスケジュールに沿って発表されます。
- e. 次のような場合、他の関係者（保護者、指導者など）に結果を確認することがあります。
 - ・申請者が重病または死亡した場合。
 - ・申請者が ABRSM から送付された結果を8週間以内に受検者に渡さなかった場合。このような場合、状況を確認した上で、結果証書および／またはその複製を関係者に直接発行することがあります。
- f. 関係者（例：申請者、受検者、保護者）は、過去の試験の結果を書面で問い合わせ、確認することができます。料金の詳細と過去結果検索フォームのダウンロードは、www.abrsm.org/exam-booking/results-and-certificates/certificate-reprint-service/をご覧ください。
- g. 試験結果は、上記の手続きに従ってのみ発行されます。電話やEメールでのお問い合わせには対応しかねます。

結果フォーム

- h. プレップテストやパフォーマンス アセスメントでは点数は与えられません。
審査終了後、審査員が証明書に参考となるコメントを書き、受検者にその場で贈呈されます。
- i. 実技グレード、PG、ARSM、オンライン理論検定には、それぞれ発行前に自動チェックが行われ、採点用紙がデジタルで発行されます。ここでは 検定の各セクションで与えられた点数、合計点数、および審査官からのコメントが表示されます。
受検者が獲得した点数の合計が合格点の半分に満たない場合、審査官のコメントのみが表示されます（無得点）。
- j. 音楽理論（筆記）の受検者には、採点用紙が発行され、ここでは各問題の点数の内訳と合計点数が記載されます。又、採点後の問題用紙は返却されません。

合格証書

- k. 合格者には、受検科目とレベルが記載された証明書が発行されます。ARSM の合格者は、必要に応じて自分の名前の後に、この資格を記載することが出来ます。
- l. この合格証は、保有者に教える資格があることを証明するものではありません。
- m. 要望があれば、証明書の複製を提供することができます。料金については、abrsm.org/datesandfees をご覧ください。証明書交換用紙の申請は、www.abrsm.org/exam-booking/results-and-certificates/certificate-reprint-service/

高等教育機関への進学

- n. グレード 8 または ARSM レベルの「Distinction」の結果は、必ずしも以下の大学への入学や事項に適していることを示唆するものではありません。
王立音楽院やその他の高等教育機関、またはプロフェッショナルな職業に就くこと。
受検者は、関連する入学要件の詳細について、各教育機関に問い合わせる必要があります。
- o. UCAS (Universities and Colleges Admissions Service) は、G6~8 をポイント制を評価します。各教育機関の裁量で、英国の大学やカレッジに入学する受検者は UCAS ポイント(ucas.com)の割り当てを受けることができます。成績は UCAS への申請を通じて UCAS に引き継がれます。詳しくは、以下のプライバシーポリシーをご覧ください。 www.abrsm.org/policies
- p. 受検者は、UCAS ポイントを獲得することができない場合でも、大学の出願書類に ABRSM の資格を記載することが推奨されます。これは、レベル 4 の資格である ARSM の場合、特に重要です。

全国生徒データベース

- q. 英国政府は、11 歳から 18 歳までの全受検者の ABRSM 検定データを要求しています。その為、私たちは、これらの年齢の受検者の結果、および名前、年齢、性別（指定されている場合）を教育省 (DfE) および Llywodraeth Cymru (ウェールズ政府) に提供します。詳細については、以下のプライバシーポリシーをご覧ください。
www.abrsm.org/policies

19 特別な配慮

- a. 検定における成績が以下のように思われる受検者に対し、ABRSM は特別な配慮をすることがあります。合理的な理由なく検定中に影響を受けたもの、または検定を終えることができなかった者。
- b. 審査官は、特別な配慮がなされるべきかどうかを決定することはできません。この決定は特別な配慮を求める有効な申請がなされた場合のみ、ABRSM が決定します。特別な配慮を申請する手順を含め、当社の「特別な配慮」に記載されています。ポリシーは、www.abrsm.org/policies でご覧いただけます。

20 試験のフィードバック

アピール

- a. 受験者が予期せぬ試験結果を受けとった場合、結果通知書を請求することで不服申し立てを行うことができます。このプロセスにより、審査官が授与した点数を再検討することができ、その結果によっては審査により、点数が修正される場合もあります。

フィードバック

- b. 結果レビューに加え、検定全般に関するフィードバックー検定全体やマークフォームについてーも歓迎します。すべてのフィードバックは記録され、継続的な改善と品質保証の手順といった私たちのコミットメントにおいて重要な役割を担っています。

結果に対する異議申し立てやフィードバックの提出に関するプロセスや期限などの詳細については、www.abrsm.org/send-exam-feedback をご覧ください。

21 不正行為および不正管理

- a. 私たちは、音楽力の達成を目指して尽力しています。この検定結果が何千人もの人々の音楽学習や指導に役立っているのです。特に高等教育への進学の場合は、これが顕著です。したがって、私たちの資格は、貴重で信頼できるものであり続けることが極めて重要です。不正行為は決してあってはならぬものであり、重大な事柄なのです。不正行為とは、以下のような評価を危うくする、または危うくしようとする行為と定義されます。
 - ・ プロセス、資格の完全性、結果や証明書の妥当性。また、これには授与機関としての評判や信用を損なうような行為。

- ・ 管理不行き届きによる規則違反、特にそのような違反が資格または評価における管理プロセスの完全性を損なう可能性がある場合。
- b. 申請者および受検者は、本検定規則およびその他のすべての規則に定められた要件に従わなければなりません。検定の実施に関する ABRSM の方針。受検申請者または受検者が不正行為を行った場合は、制裁や罰則が与えられることがあります。不正行為と 不正管理に関する方針は、www.abrsm.org/policies でご覧いただけます。

22 セーフガード（青少年の保護）

- a. 私たちは、すべての受検者の安全と福祉に対して責任があることを認めています。ABRSM のために働くすべてのスタッフおよびボランティアは、以下のことを要求されます。この責任を受け入れ、児童を危険から守るための実践を約束するものです。
- b. 当社の保護方針、手順、実践規範は、元来、NSPCC との協議を経て作成されたものです。（詳細は www.abrsm.org/policies）この方針には、業務に従事するすべての人のための実践規範が含まれています。この団体を代表する 私たちは、セーフガード・ポリシーと行動規範を定期的に見直すことを約束します。
- c. 受検者の福祉および／または安全に関して問題が起こった場合は、直ちに ABRSM の以下の連絡先に報告しなければなりません。指定保護責任者（Designated Safeguarding Person）safeguarding@abrsm.ac.uk

23 機会均等

- a. 私たちは、以下のすべての人に平等な機会と待遇を提供することを約束し、保護された特性に基づいて差別する等、違法なことは行いません。受検者、受検申込み者、保護者、介護者、教師、審査官、代理人、試験監視員、スチュワード。

24 データ保護

- a. 当社は、個人（受検申し込み者、受検者、その他を含む）に関する個人データを、データ保護法およびプライバシーポリシー（www.abrsm.org/policies で入手可能）に規定されているとおりに扱います。この方針は、適宜変更されることがあります。

- b. 当社は、データ管理者として、英国情報コミッショナー事務局 (the UK information Commissioner's Office) に登録されています。(登録番号 Z6618494)

25 その他の重要な情報

本検定規定に適用される法律および法的手続を行うことができる場所

- a. 申請者と ABRSM の間の契約は英国法に準拠し、申請者と ABRSM の間の契約は英国法に準拠します。ABRSM は、この契約に関して、英国の裁判所において法的手続を行う必要があります。

本検定規定の施行に関連する権利

- b. ABRSM が本契約の一部を執行しないことを選択した場合、または執行を遅延させた場合でも、ABRSM は、同じ部分を後で (または別の機会に)、あるいは本契約の残りの部分を執行する権利を有します。また ABRSM が本契約の一部を執行できない場合でも、残りの部分を執行する ABRSM の権利に影響を与えることはありません。

26 付録 用語定義

ABRSM 検定： ABRSM が音楽試験サービスを提供し、受検者を関連シラバスに基づいて行う検定。

申込者： 18 歳以上で、ABRSM 検定の受検予約を提出する人 (多くの場合、学校、音楽教師、受検者の親や保護者、または受検者が 18 歳以上の場合、受検者本人)。

ARSM： Associate of the Royal Schools of Music は、演奏のみのディプロマ。

予約期間： 受検者が試験予約を行うことができる設定された期間。

受検定者 (Candidate)： ABRSM 検定を受けるために、受検申込み者がエントリーした人
受検者が 18 歳以上で、自分で試験を予約する場合は、受検者も受検申請者となり得る。

連絡先 ID： オンラインサービスを利用するすべての人に、固有の連絡先 ID が発行されます。受検者は、オンラインアカウント開設時に Contact ID を取得します。受検者は、オンライン予約サービスを利用して検定に申し込むと、Contact ID が付与されます。この

コンタクト ID は、検定の予約に関するすべての連絡に表示されます。受検者は、Contact ID を使わなくても受検予約は可能です。但し、一度コンタクト ID を取得した受検者は、受検予約のたびに生年月日と一緒に入力する必要があります。

デジタル検定：公開会場や個人宅での対面式試験ではなく、ABRSM に提出されたビデオ録画によって評価される検定。受検者/受検申請者は、受検者の学校、教師のスタジオ、又は適切なスペースと楽器（伴奏用の適切なピアノを含む）が利用可能なその他の場所など会場を選択することができます。また、受検者の自宅を会場にすることもできます。デジタル検定は、パフォーマンス グレードと ARSM のみ利用可能です。

アンサンブル検定：2 人から 10 人までの器楽奏者および/または歌手の組み合わせによる検定です。合唱とジャズ・アンサンブルには別のシラバスが適用されます。

検定期間：ABRSM の検定が公共の場で行われる期間。検定セッションは www.abrsm.org/datesandfees に記載されています。

検定科目：受検者が関連シラバスを使用して受検する科目（楽器、歌唱、音楽理論）。

対面式の検定：公共の会場または個人宅で行われる楽器または歌唱の検定。受検者が楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることを評価される検定。

音楽理論検定（Music Theory exam）：受検者が音楽理論の理解度を筆記試験で評価される検定。

オンラインサービス：ABRSM が 2020 年以降に開始する検定の予約と結果の閲覧のための新しいオンラインサービス。

パフォーマンス・アセスメント：受検者は、グレードに関係なく自分の楽器や歌唱で音楽のプログラムを演奏することで評価される試験。補助的なテストはありません。審査官は演奏に対して有益なコメントを書きますが、点数は与えられません。

許可された受検申込み者：訪問主催者から、訪問主催者のプライベート・ビジットに受検者を予約する許可を得た申込者。

実技検定：受検者が楽器や歌の演奏、および補助的なテストについて評価される検定

Practical Musicianship (プラクティカル・ミュージシャンシップ)：実技検定の一種で、受検者が演奏や歌唱によって、即時の課題や刺激（オーラルや読譜）への反応を評価されます。

プレップテスト：音楽的、技術的な基礎を身につけるための初級レベルの非公式な評価。審査官は参考となるコメントを書きますが、点数は付きません。

事前取得(Prerequisite)：G6-8 と ARSM の実技試験を受ける前に取得が必要な資格。

プライベート・ビジット(Private Visit)：主催者（申請者であるケースもある）により、ABRSM 試験のために会場が提供され、監督される場合。この費用（会場のレンタル、監視、試験監督を含む）は ABRSM の負担ではなく、又訪問先で試験を受ける受検者は、まず主催者の許可を得なければなりません。

公式会場：ABRSM が提供する検定会場。ここでの設備や手配は、ABRSM によって組織・監督されます。

責任ある大人 (Responsible Adult)：デジタル検定の記録プロセスを監督する個人。責任ある成人は 18 歳以上でなければならず、受検申込み者、教師、親／保護者のいずれも可

代表者：国またはその地域の ABRSM 検定の手配を監督し、現地の受検申込み者、教師、保護者、受験者からの一般的な質問に答えることができる個人を指します。

シラバス(Syllabus)：ABRSM 検定の要件を説明し、詳細な情報を提供する文書。シラバスは、www.abrsm.org/exams で確認できます。

会場コード:すべてのプライベート ビジットには、承認されると固有の識別コードが付与されます。主催者はこのコードを許可された受検申込み者と共有し、受検申込み者はプライベート・ビジットの受検者を予約する際に、このコードを入力する必要があります。

ビジット オーガナイザー (主催者)：プライベート・ビジットの予約・運営を行う人。受検申込み者である場合もあれば、そうでない場合もあります。オーガナイザーは、オンラインでプライベート・ビジットの予約・作成を行い、許可された受検申込者と会場コードを共有する責任があります。また、時間割を確定し、この情報を受験者や申込者と共有する責任があります。

27 2021 年度ディプロマ検定に関する例外規定 (省略)

28 マレーシアにおける実技試験に関する例外的な規定 (省略)